

あいち環境社会  
【仮称】の実現に  
向けた四つの目標

物質が循環的に利用されるなど環境負荷の小さな社会  
(循環社会)

多様な生態系が健全に維持され、人と自然との豊かなふれあいが確保された自然と共生する社会  
(共生社会)

大気、水、土地、生物の恩恵にあずかる県民が安心して生活のできる社会  
(安心社会)

地球的視野で環境を考え、県民、民間団体、事業者、行政が協働する社会  
(協働社会)

政策展開の基本的方向

持続可能な社会を創るライフスタイルの普及、浸透

環境と経済の好循環の促進

愛知万博の成果の普及・定着

県民、民間団体、事業者等の自主的取組と協働の促進

国や隣接県との連携と国際環境協力の推進

政策展開の内容

<p><b>新エネルギーの戦略的展開等による脱温暖化の推進</b> 太陽光等の自然エネルギーや工場、農地、山林、畜産等で発生する未利用資源の活用を進めることなどにより、脱温暖化を加速する。</p>
<p><b>資源循環型社会の形成</b> 愛知が持つ優れた産業技術を活かし、循環ビジネスの発掘・創出を進めるとともに、資源の地域内循環を進めるなどして、資源循環型社会の形成を促進する。</p>
<p><b>環境に配慮した機能的なまちづくり</b> 中心市街地・商店街の活性化、都市緑化の推進、車への依存を減らす交通対策など、人々を都心に回帰させるための幅広い行政施策を連携して進め、環境負荷の少ない機能的なまちづくりを進める。</p>
<p><b>健全な水循環の再生</b> 水源の森づくり、下水道や農業集落排水処理施設等の整備、多自然型河川づくり、藻場・干潟の造成などにより、流域を中心とした一連の水の流れの過程において健全な水循環の再生を図る。</p>
<p><b>生物多様性の保全</b> 自然環境保全地域、自然公園、鳥獣保護区の維持、拡充を始め、生物の生息生育の保全・創出を図ることにより生態系ネットワークを形成するとともに、希少野生動植物を保護するための制度を創設し、生物多様性を保全する。</p>
<p><b>環境に関する安全・安心の確保</b> アスベスト、PCBなどの「負の遺産」への対応や有害化学物質への対策、局所的な公害対策、東海地震等の大規模災害時における環境対策など、環境面における県民の安全・安心の確保に取り組む。</p>
<p><b>環境学習の機会の提供等による人づくり</b> 環境に関する情報提供・啓発活動や環境学習の推進など、県民の環境意識の高まりを活かし、環境や地域に対する「思いやり」の心を大切に、環境を優先した行動のできる人づくりを進める。</p>
<p><b>環境の価値を評価、反映する経済活動の促進</b> 経営に環境を組み込んだ企業活動の支援、環境配慮による経済的メリットの付与などにより、環境の価値が一層評価・反映されるような経済活動を促進する。</p>
<p><b>国際協力の推進</b> 環境に関する国際会議を誘致することによりこの地域の環境に対する意識を一層高めるとともに、本県に蓄積された環境に関する知識・経験を活用した国際協力に取り組む。</p>